

鉄砲洲神社詩吟 素読論語

(平成 27 年 11 月 3 日)

衛霊公 第十五

【一】衛の霊公 陳を孔子に問う。孔子対えて曰く、俎豆の事は、則ち嘗て之を聞けり。軍旅の事は、未だ之を学ばざるなりと。明日 遂に行る。陳に在りて糧を絶つ。従者病みて能く興つ莫し。子路 愠り見えて曰く、君子も亦 窮すること有るか。子曰く、君子固より窮す。小人 窮すれば斯に濫すと。

衛の霊公が戦の陣立てについて尋ねました。「俎豆」は、祭りの時に使う祭器です。孔子は、小さい頃から礼儀作法については学んでいるが、私は戦をする上での知恵はまだ授かっていないから、返事はできません。「学ばざるなりと」は、話をしたくないから、こう答えたなど感じます。それで翌日、衛から姿を消した。

衛を去って陳に行ったのですが、陳に行ったら囲まれてしまって、食べ物がないまま 1 週間ぐらいそこを動くことが出来なくなってしまった。孔子についていった人々は、みな食べる物が無いものだから体力が萎えて起き上がれなくなり歩けなくなる。子路が怒って、君子は困ることがあるのかと問い質したら、孔子は、当然君子も困ることはある。しかし平然として慌てて騒いだりはしない。ただ、小人は困りきると乱れて怒り狂って暴れだしたり、家を襲って食べ物を盗ったり人を悩ますものだ。君子はそういうことをしないという話です。

この場面は孔子の映画でありましたね。今は DVD が出ています。

今の国家を例えに使ってみます。北朝鮮に孔子が行ったら、戦の方法を孔子に頼んだけど、私はまだ学んでいないから知らないと答えて、翌日すぐ北朝鮮を抜けて韓国に行った。韓国に行ったら、韓国の兵隊に囲まれてしまって、お前は生かしておくわけにはいかないからと兵糧攻めに遭う。直接手を下さず、孔子たちが飢え死になればよいと韓国も北朝鮮も思う。ついでに中国からすると、孔子が北朝鮮、韓国に知恵を出されたら敵わんということで韓国を囲んでしまえば外に出さないようにする状況です。まわりをそれぐらいの感覚で軍隊に取り囲まれたら孔子一団は、どうにもならない。普通であったら、力づくで何とか対応は出来たかもしれないが、この場合は平然としてお腹が空いたねというだけで、慌てずに平然としていた。子路はお腹が空いてイライラして孔子にくっついてかかっている状況です。

ただ窮すれば通ずというのが、易学の中にあります。困ったら良い方法が見つかるし、良い方法が見つかったとって、それでよしと思っていると、次は悪いことがくる。

人間万事塞翁馬という感覚が易の中にあります。困ったからといって困りっぱなしではない。必ず良いことはあると考えればよいので、今の世の中で困ったなと思ったら、次には良いことがあるさ、良いことが回ってきたら、次は悪いことが回ってくるねと、ここをサラッと受ければ良いかなと思う文章です。